

環太平洋くろしお文化論 ガイダンス 2023

授業概要（シラバスより）

奈良県は、環太平洋黒潮海廊と古代大和盆地を南北に縦貫する幹線の十字路に位置し、環太平洋黒潮海廊である紀ノ川・吉野川・橿田川ルートは古代日本の産業・文化幹線であった。この授業では、日本の国と文化が生まれた場としての奈良を紀伊半島と不可分の地としてとらえなおし、その地政学的位置、世界とのつながり、国内交通、中心性を帯びる理由、流通・経済・文化・宗教的背景など、多面的視点から考えていく。

学習到達目標（シラバスより）

大和を畿内の中核としてではなく、紀伊半島と連続する地としてとらえなおすと、環太平洋の様々な地域との関係が見えてくるかもしれない。この授業の目標は、そんな壮大な仮説の検証を、授業の中で教員と受講生が共同で体験することにある。既存の通説や定説を疑うことの重要性を理解することも、この授業の目標である。

1. ガイダンス（田中希生）
2. 環太平洋文化圏における流通のかたち（村上麻佑子）
3. “南”への憧れ ——縄文～古墳時代までの装飾貨幣の特徴——（村上）
4. “南”の独占と忘却 ——奈良時代の展開——（村上）
5. 海上交通からみた紀伊半島と大和（大賀克彦）
6. 遠距離交易の時代（大賀）
7. 古墳時代の海洋民と文化传播（大賀）
8. 奈良盆地と吉野（西村さとみ）
9. 天照大神の変貌（西村）
10. 熊野信仰概説（斉藤恵美）
11. 常世国信仰と熊野信仰の発生（斉藤）
12. 修験道と熊野信仰の発展（斉藤）
13. 寺社詣と文学（長田明日華）
14. 遭難者たち（矢島洋一）
15. 紀伊半島と純文学（田中）

授業形式

- ・ 授業録画・録音・教材等はXドライブ「環太平洋くろしお文化論」の該当日フォルダ、またはLMS、または担当教員の指示するアドレスからダウンロードする。
- ・ 担当教員の指示があれば、LMSのレポート機能を使って簡単な感想文を提出する。

成績評価

- ・ 7名の教員のうち、好きな講義を選び、それについてLMSを使ってレポート（1000字以上）を提出する。表紙に名前・学籍番号、選択した教員の名前を記載。